

大雪の経済的影響に関する調査結果

平成30年3月26日

函館商工会議所

調査の主旨

函館市はこの冬、気象台が降雪の統計を開始以来過去最高の累積積雪量(500cm超)を記録し地域経済への影響が多大なものとなったため、大雪による会員企業の状況を把握し、調査結果を踏まえ今後の対策及び関係機関要請を進めることを主旨として調査を実施。

結果の概要

■ 回答企業151社のうち、今シーズン(11~3月)の大雪による自社の影響で「大きな影響があった」「少し影響があった」と回答した企業の割合は73.5%(111社)に及んだ

■ 上記「大きな影響」「少し影響」と回答した111社のうち、具体的な損失金額の報告があった71社の合計損失額は1億4,177万円(1社平均200万円)に及んだ。なお調査時点で損害額調査中や不明と回答した企業も多かったことから、回答企業の実際の損失額は更に大きいものと考えられる

■ 自社の営業車両(ルートセールス、旅客・貨物輸送)において、道路除排雪不備により平常時と比べ30分以上の時間ロスや稼働停止が生じたと回答した企業45社、その時間損失費用は合計3,015万円に及んだ。時間ロス未掌握として未記入企業も多かったことから、実際には道路除排雪不備による地域経済の時間損失コストは多大なものと考えられる

■ 自由記載では行政の除排雪体制への不満が強く表れたほか、除排雪制度改善への具体的・建設的な提言も多数寄せられた

I 調査期間

平成30年3月9日(金)~22日(木)

II 調査方法

函館商工会議所会員事業所のうちFAX設置法人企業へFAXにて調査票送付・回答

III 回答者属性

回答数151件(依頼数1,306件、回収率11.6%)

●従業員数(パート等含む、出先企業の場合は函館地区分) (N=151)

A. 5人以下	18
B. 6~20人	55
C. 21~50人	38
D. 51~100人	20
E. 101~300人	14
F. 301人以上	2
未記入	4

●主たる業種 (N=151)

A. 農・林・漁・鉱業	1
B. 建設業	27
C. 製造業(食品を除く)	11
D. 食品製造業	14
E. 電気・ガス・熱供給・水道業	0
F. 情報通信業	4

G. 運輸業、郵便業	9
H. 卸売業、小売業	40
I. 金融業、保険業	5
J. 不動産業、物品賃貸業	1
K. 学術研究、専門・技術サービス業	3
L. 宿泊業	8
M. 飲食サービス業	5
N. 生活関連サービス業、娯楽業	0
O. 教育、学習支援業	0
P. 医療、福祉	7
Q. 複合サービス事業	0
R. サービス業(他に分類されないもの)	16

Q1. 今シーズン(11月～3月)の大雪で自社の経営に影響はありましたか？(N=151)

a.大きな影響があった	48	31.8%
b.少し影響があった	63	41.7%
c.あまり影響はなかった	31	20.5%
d.影響はなかった	9	6.0%

Q2. 設問1で、a.大きな影響があった、b.少し影響があった、と回答した方の被害額・内容(N=111)

■111件のうち概算損失額記入企業71社の損失額 (万円)

a.社屋・機械・設備・車両など固定資産の損害	2,333
b.売上・客数・行事とりやめなどに関する損害	7,953
d.仕入・調達(製造原価)に関する影響	570
e.販管費・諸経費に関する影響(除雪・外注費・残業代等)	3,321
71社損失額合計	14,177

1社平均200万円
最大約2,000万円

■111件のうち特需額記入企業5社の売上額 (万円)

c.売上・客数に関する特需	215
---------------	-----

(内容)除排雪作業受注5社、振替需要2社、用品売上1社

■大雪影響の主な内容

a.社屋・機械・設備・車両など固定資産の損害

- ・わだち、穴、雪山による車両破損(20社)
- ・悪路による車両どうしの事故(5社)
- ・雪氷による社屋、工場、営業物件の破損(12社)
- ・雪氷による社屋、工場の雨漏り(3社)

b.売上・客数・行事とりやめなどに関する損害

- ・小売、飲食、サービス業の客数減、キャンセル増による売上減(25社)
- ・建設、製造、卸売業の工期行程、納期遅れによる機会損失や売上減(14社)
- ・雪害、悪路を原因とする運休・遅延による運輸業、輸送業、流通業の売上機会損失(13社)
- ・旅行業、宿泊業、輸送業のキャンセル増による売上減(10社)
- ・社員の出勤停止、欠勤による休業や売上機会逸失(5社)
- ・取引先売上減少の連鎖(3社)
- ・出張の中止や延期による機会損失(2社)

d.仕入・調達(製造原価)に関する影響

- ・仕入、調達遅延による売上機会損失、廃棄ロス(18社)
- ・建設、土木、設備工事等における除排雪費増、工事延期や中止(10社)
- ・品不足による食材高騰(1社)

e.販管費・諸経費に関する影響(除雪・外注費・残業代等)

- ・除排雪作業の外注委託費、除排雪機材購入費の増大(52社)
- ・除排雪作業に従事する社員人件費の増大(16社)
- ・除排雪作業機材、ロードヒーティングに係る燃油費の増大(9社)
- ・輸送業、流通業等ルートセールス遅延に伴う人件費、燃油費、スタック対策物品費の増大(10社)
- ・代替輸送手段確保費用の発生(2社)

f.その他の影響

- ・全般にわたる社内生産性の低下(5社)
- ・除雪作業や交通事故による従業員の負傷(4社)

Q3. 11～3月に自社営業車両(ルートセールス、旅客・貨物輸送など。受託輸送も含む)において、平常時と比べて30分以上の時間ロスまたは稼働停止が生じた日数と運行回数から算定した時間損失コスト

※時間価値原単位は国交省道路局「費用分析マニュアル」(平成20年11月)による

	a.普通 貨物車	b.小型 貨物車	c.乗用車	d.バス	
遅延発生回答企業数(45社、重複あり)	11	17	20	3	
A)30分以上遅延発生回数(回・日)	2026	4124	14033	306	
B)時間価値原単位(円/台・分)	64.18	47.91	40.10	374.27	合計(円)
走行時間損失コスト(最低30分×A×B)	3,900,860	5,927,425	16,881,699	3,435,799	30,145,783

※他に公共交通事業において道南管内運休合計260便、遅延85便、影響人員約33,000名

Q4. 設問2～3のほかに大雪によって生じた経営上の影響やトラブル<任意・複数回答>

a.臨時休業や営業時間短縮	24
b.会社行事・事業の取り止め	3
c.社員の遅刻・欠勤	102
d.その他	6

Q5. 関係機関に対する要望<任意・複数回答>

a.融雪装置などの整備	37
b.除雪・排雪体制の整備	135
c.道路状況の情報提供	27
d.公共交通の定時運行確保	18
e.損失への金融支援策	8
f.その他	3

Q6. 今期の大雪を振り返って、来期以降の対策のアイデア、関係機関へのご意見<自由記載>

【行政の除雪体制に関する苦情】

- 家の前、もしくは大きな道路に出る道路がぬかっているので出ていけず、除雪が中途半端すぎる。同じ道南でも北斗市、七飯町くらいの除雪体制が必要。
- 一般道路は勿論のこと、生活道路もしっかりと除雪すべき。一度も除雪が入ってないところも多々見受けられる。予算はきちんと確保しておくべき
- 大雪が降ったら幹線道路の除雪をすばやく行ってほしい。交差点に積み上げた雪の排雪の速やかな撤去
- 会社の除雪が済んでいても、主要道路からの小路がぬかるみ、駐車場までたどり着けず出勤できないことがあった。除雪指導をもう少しマメにして頂きたいと思う。
- 各関係機関は、年間の除雪予算に関係なく大雪の場合は対応していただきたい。
- きちんと除雪費を予算確保する(命に係わる)生活道路の除雪の徹底。通勤・通学時の除雪(2車線が1車線になる)
- 交差点付近の氷の穴がひどいところがある(山の手ダイソーなど)特にひどいところの情報を把握してほしい。
- 今期に限らず、除雪だけでなく、排雪体制を強化、除雪の仕方が雑。市は除雪された道路状況をチェックすべき。市は市民の足である道路を確保する責務があるが、市が努力している姿勢が市民に伝わってこない。
- 今年度を教訓に来年度は予算を確保して頂き、特に除雪後の排雪作業に重点を置いて交通機関の円滑化を図ってほしい。
- 市道の除排雪計画及び業者への発注を見直してほしい。

- 市道はもちろん、生活道路までできるだけ早くに除雪できるように努力してもらいたい。
 - 市内の除雪が間に合っていないため、社員の通勤、商品の納品業務に影響があった。未曾有の事態のため大変と思うが、今後の対応をよろしく願いたい。
 - 市内の除雪業者は市の土木部より要請がなければ動けないとのこと。大手町町会長にも電話、FAXにて要請をしたが、今年は一度も除雪車が入らない。土木部は現場を見ているのか？まったく不満。
 - 市の指定業者以外にも協力をしてもらえれば、ここまで苦情が出なかったと思う。例えばダンプなどは4tダンプでも十分活躍できたと思う。市でも産廃業者は把握できているはず。
 - 市は圧雪していると聞いた。圧雪ではまたぐちゃぐちゃになるので除排雪を願う。大きな道路は比較的除雪しているのはわかるが、社員が出勤できないので、住宅街の除排雪の動きも把握したい。
 - 主要道路の除雪・排雪体制の強化、特に排雪。西部地区は観光地でありながら、最悪の道路状況だった。道内外からの観光客も道路状態の悪さに唖然としていた。観光の町としては恥ずかしい失態と思う。
 - 除雪が行き届いていれば回避できた事故や経済的損失(時間含む)もかなりあったのではなかったと思うので対策を講じてほしい
 - 除雪の件もさることながら、雪解けの後の道路の凸凹がひどい。舗装工事の適時対応が必要と思う。
 - 除雪はなんとかできるが、排雪にとっても困った。道路除雪をきめ細かく実施してほしい。道路わきギリギリまで除雪してほしい。路肩の排雪をしてほしい。キャリアケースをもつ観光客のために歩道も除雪してほしい。特に湯の川温泉電停から海沿いへの道(湯の川温泉に来る観光客から数多く要望されている)
 - 除排雪の悪さがほかの自治体と比較しても相当悪く感じた。今年には特別に雪が多かったのもあるが、そういう時でも予算のせいにせず対応してもらいたい。
 - 数十年に1度の大雪であり、対策は難しいが、観光客の多いエリア、交差点は重点的に除排雪をお願いしたい。
-
- 生活道路の除雪をスムーズに、市中心部の雪捨て場の確保
 - 世間、マスコミで言われている通り、主要道路・生活道路くまなく除雪する体制に、市役所が臨機応変に対応できるように求める
 - 他県から転居してきて、雪国なのに除排雪の体制の不十分と感じた。今年には自宅や会社前の除雪に多くの時間を費やした。市民全体で考えると、膨大な時間ロスかと思う。車を運転する際は道路脇に放置された雪山や悪事に危険を感じた。また、路面電車の停留所が雪や氷だらけで、高齢者が線路内に転びやしないか心配した。札幌など雪の多い自治体の取り組みを研究するなど、よりよい除排雪体制を構築していただきたい。
 - 直近の除雪で道路に一定の厚さの雪を残す除雪に疑問有
 - 道路除雪が酷すぎた。観光都市として市及び市議会は何を考えているのか。近隣の市や町と比較しても差がありすぎるのでは？
 - とにかく除雪をもっとうまくやってほしい。宿泊客(札幌など)からも不満が今年には非常に多かった。七飯に住んでいる従業員がJR運休日にバスで出勤したら函館駅前まで約2時間かかり、以降その従業員は大雪予報日の前日は店舗に宿泊(計3回)
 - 函館市の除雪が全くなっていない。どこに10億使ったのかわからない。
 - 函館市の除排雪作業が行き届かず、あちこちで車が埋まって大変だった。
 - 函館市の道路維持管理の在り方には、日頃より大変疑問を持っている。今年の除雪費は10億円を使ったと聞いた。一体何処に使ったのか？まったく実感することができない。毎日市内を移動する私も、多くの関係者も口々に言っている通り、除雪はしていない。住宅街の道路は、地域住民の協力を得て各々が除雪を行っているケースが殆どだと思し、それは住民としてごく当然の事と理解している。現に私も自宅、会社の敷地、隣接する公道も毎回除雪してきた。交通量の多い幹線道路は、行政がきっちり管理するべき。わだちができなおかつボコボコの道路で何週間も放置されている。経済に与える影響は計り知れないのではないか。自分たちが住む函館市をもっと住みやすい街に作り上げる努力をするべきだと思う。
 - バス道路、主要道路の除雪を徹底してほしい
 - 歩道の除雪をお願いしたい。当社近隣の商業施設は自店駐車場を除雪業者で除雪しているが、歩道はほとんど手つかずの状態。
 - 周りの高齢者の車が入りできず、買い物ができない状態でした。
 - 雪捨て場を多くしてほしい
 - 雪により道幅が狭くなり「右折車線」が機能していない交差点が多くなっていったように思う。交差点周辺は重点的に除雪をお願いしたい。
 - 臨空工業団地道路(鈴蘭丘町)のトラブル発生が多い(特に今年)アクセス道路の新規増設を望む。もしくは除雪体制の見直し
 - 例年にない降雪となり、対応が遅れ渋滞を招いた。せめて、そろばん道路を削るだけでも緩和したのではと考える。
 - 荷物の積み降ろしにトラック便が道路を塞いでしまい苦労した。函館市には除排雪をきちんとお願いしたい。

【行政の制度設計や除排雪作業の広報周知に関する意見】

- いつどこに除雪・排雪ができるのか？その情報が全く伝わってこないのは、この時代にはいかなものか。降雪によって予定が変わるしても、ルールがあるならそれを公開すべき。

- 大雪は自然が相手なので全く予想できない。そうした自然災害に向けて毎年予算を貯めておくことを望む。通学道路・大型病院・市電通り・国道など、せめて早めの対策をお願いしたい。今年はやってない。働き方改革のせい
か？まったくバカげている
- 小型ホイールローダーや、小型除雪機の購入補助制度。除雪遅れの原因が予算不足なのか、外注先なのかオペレーター不足、重機不足など、除排雪費の流れも不透明で、市民が納得できる説明が欲しい。ある地区の業者は重機でこまめに頻りに除雪しているが、別の地区を担当している業者はあまり除雪をしないなど、業者の社長次第(利益とのバランス)で出勤しないなどもあるように見えてしまう。ほかにも原因が複合的に絡んでいると思うが、札幌や青森市、北斗市・七飯町など、ほかの市町村の体制を学んでよりよく改善すべきだと思う。「市民」の「役」に立つ「所」(市役所)なのだから、市民目線でよくよく考えてベストの体制を整えていただきたい。国際観光都市として恥ずかしい。
- 市有地や、大きな敷地を有する民間企業に協力して貰い、今回のような大雪が降ったときの排雪場所としてあらかじめ協定を結ぶ。除雪依頼の斡旋や苦情窓口・連絡先を設置する
- 除雪機や融雪装置への補助金制度を検討頂きたい
- 除雪作業の動きを提供してほしい
- 中央・万代ふ頭の借地(荷さばき所)の排雪を要望する。
- 天候を予測して早めに除雪、排雪の作業に入ること、個人でトラックや除雪機などを保有している漁師や農家の方々とも除雪契約をして協力をしてもらう。市との契約は書類申請等に手間や無駄は多いことも多々あるので、手続きを簡略化して、多くの方々に協力をしていただけるようなシステムを作るべきだと思う。また排雪は他の市町村では海に捨てる等も行っているのに函館市はどうしてダメなのか。市の計画は、状況に応じて変更をどんどんしてほしい。あまりにも後手過ぎて民間との考え方に差がありすぎる。
- 排水溝などを利用した排雪体制の整備
- 排雪のスケジュールを知りたい
- 函館市の除雪予算の拡大。札幌市は人口200万人で除雪予算480億前後、対して函館25万人除雪費用4億円(北斗市・七飯町も比較参考とすべき)
- 函館の様な地域では除排雪の予算が取りづらいので、予算の繰り越し(無駄に予算を使い切らず)ができないものか
- 北斗市、七飯町に比べて、除排雪対策が貧困。対策の基準を見直して、予算を十分に確保して、市民の冬の生活第一の行政を行うことが、定住者の誘致、観光客の安全に直結する政策である。観光ありきの行政の転換を、31年春の市長選挙に期待したい。
- もう少し除雪費を増やす。雪を捨てる場所を増やす。
- もっと道路除雪を早くしてほしい
- 夜間帯での除排雪の実施
- やはり行政の除排雪体制の仕組みに大きな問題があると思う。救急車すらまともに走行できない状態で経済活動などは難しいと思う。
- 予算的には大変と思うが、最低冬季期間中一回は除雪をお願いしたい。手作業にはどうしても限界がある。
- 予想外の大雪にいつも体制を準備することも予算の無駄使いになるのではないか。
- 来年以降も大雪が続くと見込んで、道路の除雪機関の増員・整備・予算増額。除雪が全く足りていない。最低限主要道路の道幅の確保は絶対必要

【市民・企業の自助行動に関する意見】

- 幹線道路にある集客店舗全般は、自らが店舗付近の除雪をやるべき。社員数が多い会社は土日曜に出勤し、行政ばかり当てにせず自費で行ってほしい。行政関係はそういう協力を民間企業にお願いをする必要。行政は雪を捨てる場所を多く作ること
- 今回の大雪で、市役所には対応していただけないことがわかり、自分の身は自分で守るという心がけが必要と感じた。それに当たり、商工会議所には、除雪や融雪機などのリース会社等、優先して斡旋していただけるような仕組みがあれば、ぜひ利用させていただきたいと思う。
- 市内住宅街の除雪が悪く、配送業務に非常に時間を要した。市の除雪も必要だが、各々の努力も必要である。
- 予算の関係もあり、行政は大変だと思う。困るのは車道に歩道の雪を出す民家や会社が数多くみられること。悪路ができる原因の一つになっている。市民の意識改革が必要。自分の事だけを考えないでほしい。